

高校産の新米、ネット販売

生徒が授業で栽培している「あきたこまち」のインターネット販売を挑戦しようとする、能代市の能代科技術高校生物資源科の2、3年生が勉強会に取り組んでいる。通販サイトの出品の仕方などを学び、新米を消費者に届けるまでを体験する。

能代科技術高校生物資源科

あきたこまちは統合前
の能代西高でも栽培し、
一部を学校祭で保護者や
地域住民に販売してい
た。ネット通販への挑戦
は、顔の見えない消費者
に売る体験をして将来に
生かしてもらおう狙い。約
2・3秒で栽培するあき
たこまちは大半はJAに
出荷し、ネット通販は
800ほどにならな
み。

販売の基礎について学ん
だ。生徒は通販サイトで
「白米」「玄米」「無洗
米」などを検索し、それ
ぞれ数万から十数万円が
出品されていることを確
認。鈴木さんは「この中
から競争を勝ち抜いて、
どうやったら一番目立つ
ようにできるか、皆さん
と一緒に考えたい」と語
り掛けた。

勉強会の講師は、市地
域おこし協力隊の鈴木保
博さん。通販サイト「マ
フレーション」の担
当部門に勤務していた。
3年生の初回の勉強会は
3日に行われ、ネット通

また、ネット通販では
消費者がわずか0・2秒
で商品の良し悪しを判断
するとの説を紹介。「商
品を選ぶ決め手は写真。
それもパッケージの写真
ではなく、茶碗によそ

つたご飯やおにぎりなど
食べることをイメージで
きる写真にした方がいい
」とアドバイスした。
勉強会では今後、全国
の通販業者がしている
工夫などを学び、実際
に通販サイトに商品ペ
ージを開発して販売す
る予定。

また、ネット通販では
消費者がわずか0・2秒
で商品の良し悪しを判断
するとの説を紹介。「商
品を選ぶ決め手は写真。
それもパッケージの写真
ではなく、茶碗によそ

勉強会で通販の基礎学ぶ

岡山龍之介さん(3年)
は「普段はネットで買う
側なので、考え方を逆
にした。社会人になつて
からもネット販売の機
会があると想つて、習
ったことを活用できよう
と」語り学ばたい」と話
した。

(斎藤将典)

ネット通販の基礎を
学んだ3年生の1回
目の勉強会

